

所管課	市民生活部人権推進室									
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)		施 策						
	第2章 共生共感都市	02 男女共同参画	03 男女の人権が尊重される社会をつくる							
事業：男女共同参画人権擁護事業							整理番号 0021			
目的	人が自尊意識をもち、自らの人権を守りながら自立した生活をおくることができること。									
目標	男女共同参画センターで実施している女性相談を周知し、相談枠の充足を図る。 河内長野市ドメスティック・バイオレンス被害者等支援連絡会議の代表者・実務者の連携強化と研修会実施による被害者支援の充実を図る。									
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	633	コスト情報・評価	総コスト(千円)	3,807	総合評価	妥当性	A		
	一般財源	633		内訳	事業費		633	B	効率性	A
	国府支出金	0		人件費	3,174		有効性		B	
	地方債	0		公債費	0	評価理由	相談枠は常に埋まる状態であり、また、相談者の問題解決に役立っている。			
	その他特定財源	0		一人あたり(円)	34					
				世帯あたり(円)	81					
貢献度	施策に対する事業貢献度	A	根拠	利用度が高く、相談者の問題解決に非常に貢献している。						
今後の方向性	現在は、長期化する相談者によって特に支障があるわけではないが、今後影響があるようであれば、回数制限などを検討したい。									

事業優先順位	1	細事業：男女共同参画人権擁護支援事業					整理番号	01
目的	社会や家庭の中で、精神的・経済的に弱者となっている女性の支援をすることで、女性の自立を促すこと。							
目標	・男女共同参画センターで実施している女性相談を周知し、相談枠の充足を図る。 ・河内長野市ドメスティック・バイオレンス被害者等支援連絡会議の代表者・実務者の連携強化と研修会実施による被害者支援の充実を図る。							
事業実施主体	委託	事業開始年	平成14年度	根拠法令	男女共同参画社会基本法・配偶者暴力防止法・河内長野市男女共同参画推進条例			
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	財源内訳	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)	平成24年度	比較
			633			事業費	3,807	
			633			内訳	633	
			0			人件費	3,174	
			0			公債費	0	
			0			一人あたり(円)	34	
0		世帯あたり(円)	81					
0		職員数(人)	0.40					
0		再任用職員数(人)	0.00					
今後の方向性	現在は、長期化する相談者によって特に支障があるわけではないが、今後影響があるようであれば、回数制限などを検討。							
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	主に成人女性である河内長野市民約50,000人			
	A	A	B					

事業：男女共同参画人権擁護事業

人が自尊意識をもち、自らの人権を護りながら自立した生活をおくることができることをめざし、相談事業を実施した。また、配偶者からの暴力の被害者に対する支援のために「河内長野市ドメスティック・バイオレンス被害者等支援連絡会議」を開催した。

細事業：男女共同参画人権擁護支援事業

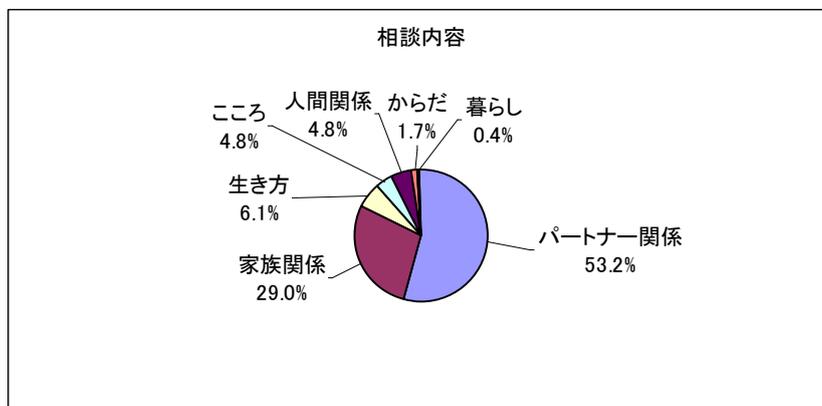
1. 女性のための相談事業

女性が自らの安全と生活を守りながら自尊意識をもって自立できるよう支援するため、女性問題解決の視点をもつ女性カウンセラーに委託し、男女共同参画センターにおいて面接相談を実施した。

相談日 第2水曜日 午後1時～4時
第3土曜日 午前9時30分～11時30分
第4水曜日 午前10時～正午、午後1時～3時

相談件数 94件

主な相談内容 配偶者からの暴力、生き方、家族関係など



2. ドメスティック・バイオレンス（DV）防止対策事業

配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援などの体制を整備することにより、男女平等の妨げになっている配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図る。

(1) 河内長野市ドメスティック・バイオレンス被害者等支援連絡会議の代表者及び実務者合同会議を開催し、DV被害者の実態及び支援と今後の課題などに関する情報交換を行った。その後、大阪府女性相談センター相談支援総括主査から講義を受けた。

日時：8月23日（木）14時～15時30分
講義：「一時保護の現状」
講師：大阪府女性相談センター相談支援総括主査 岡本 幸代

(2) 河内長野市ドメスティック・バイオレンス被害者等支援連絡会議構成員を対象に研修会を開催した。

日時：11月2日（金）13時30分～15時
内容：「加害者の感情と向き合う」
講師：京都橘大学健康科学部心理学科・カウンセリングオフィス天満橋代表
臨床心理士 濱田 智崇